



110

爾後もいふ無音多衆

過般各地巡歴

逾益河壯健と事

為國家幸大賀也

招出地方の昨年の五稔

以年今夏の孝作も

思わかりす而しん

土地の負たる言を荷

思わぬからす而して
土地の負担を言ふ苛
重なり農家の情
況惘然として
商家も亦不振
不振の者も何れ
我村は復振興の
請せすんは國家の
前途に如何のお母
歎と再なる念つれ
小生は
開國五十年中史
今昔の感堪へず
梅雨の時期及霖
は俄々炎熱に向ひ

上高元臣西窓時

開國五十年中史閱讀

今昔の感堪す哉

梅雨の時期及霖

返俄美熱に向ふ

頃を別く自

愛を祈望す

奥方様も時下

身は舞中上夜心

憚るく風聲

お願も御情は

以禮方寸結ぶ

也形者持

一月廿一日

直杉

奧方操也時下
真舞中上夜公
憚軍之風聲
相顧之味情也
以說方寸結如斯
也 形音好
字月廿一日

直彬

大隈大兄研北